

－2024年度第1回（第28回）建設技術講演会－

共催：（一財）茨城県建設技術管理センター
（公社）土木学会 関東支部 茨城会

（一財）茨城県建設技術管理センターおよび（公社）土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたいと、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す3名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2024年7月5日（金） 講演 13:45～16:00
○場所：公益財団法人 茨城県開発公社ビル 4階大会議室
〒310-0852 水戸市笠原町 978-25
TEL 029-301-7000（代）

○プログラム：

13:45 開会

13:45 主催者挨拶

13:50～16:00（休憩、質疑時間を含む）

〈講演1〉観光分野の防災と危機管理

～災害・危機発生時の観光客・旅行者の安全と安全確保に備える～

〈講師〉観光レジリエンス研究所 代表

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授

東洋大学国際観光学部 客員教授

国連防災機関（UNDRR）民間セクターアライアンス ARISE 日本代表

高松 正人 氏

〈概要〉コロナ禍後の観光の急速な回復により、茨城県内の各観光地は国内外からの観光客でこれまでにない賑わいを見せています。経済成長と雇用拡大に貢献する観光は、今後の主要な産業として期待されています。

一方、気候変動により気象災害が増加、激甚化してきています。また、首都直下地震をはじめとする大地震や津波が発生すれば、県内にいる観光客・旅行者は人的被害やさまざまな影響、それに伴う不安や不便を免れないでしょう。

災害・危機時に観光客・旅行者の安全を確保し、不安を軽減することは、観光客を誘致する地域・事業者の大切な役割であり責任です。

講演では、災害・危機時の観光客への影響と、不安・不便を軽減するための対応、その備えについて、土木・建築の視点も交えて検討します。

〈講演2〉NTT 東日本が取り組む道路の未来

～デジタルトランスフォーメーションと道路が創るまちづくり～

〈講師〉1. インフラ事業者の抱える共通課題の解決に向けた取組み

NTTME 社会インフラデザイン部 地域あんしん推進部門長 佐々木 理 氏

2. NTTが進める具体的なDX

NTTME 茨城エリア統括部長 村山 直之 氏

〈概要〉安心して住み続けられるまちづくりを目指しインフラメンテナンス業務を高度化し、道路管理業務の効率化を進めていく上でNTT 東日本が培ってきた技術やノウハウをご紹介し、茨城エリアでの取組と今後の方向性について紹介する。

16:00 閉会

- 参加費 : 無料 (事前登録制)
- 特典 : 希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます (2.0 単位)
- 申込方法 : 下記申し込みフォームより参加登録をお願いいたします
<https://forms.gle/EFmabbFcPBnGu4836>



※定員に達し次第、申込締切とさせていただきますのでご注意ください。

※おひとり様ずつの申し込みをお願いいたします。メールアドレスは重複してもかまいません。

- 申込期限 : 6月21日(金)
- 連絡先 : 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1 茨城大学日立キャンパス
土木学会関東支部事務局 担当: 曾我部まで
TEL / FAX: 0294-38-5160 E-mail: sogabe.natsumi.0123@gmail.com